

「座学と演習(模擬体験)で学ぶカイゼン活動セミナー」を開催しました。

「座学と演習(模擬体験)で学ぶカイゼン活動セミナー」を2018年7月4日に開催しました。神戸市とNIROでは、今年度から新たに「IoT・スマートものづくりスクール」として、ものづくりの高度化を目的に、毎回テーマを絞った講習・セミナーをシリーズで開催する予定ですが、この第1回に当たります。

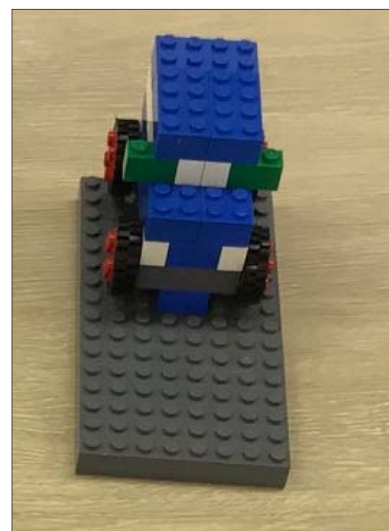
今回のテーマは現場のカイゼン。カイゼン活動の基本となるIE（インダストリアルエンジニアリング）の基本原則と改善の着眼点を学ぶことを目的に、会場の神戸市産業振興センターには32名の参加者が集まりました。ものづくり企業の方がほとんどです。

セミナーの様子です。講師はIEの専門家、大阪工業大学の皆川教授にお願いしました。まず、座学ではムダの概念や、カイゼンの原則や着眼点について解説をしていただきました。



今回の講習の「目玉」は、「模擬生産実習」です。

Lego ブロックのパーツから、完成車を「生産」します。



(公財)新産業創造研究機構

6つのグループに分かれて、作業方法を工夫し、生産性をグループ間で競います。



各グループの実習の様子です。工程の所要時間を計って、改善案を出します。



午後からカイゼンの成果発表会。グループ別に生産デモンストレーションを行い、生産性を比べます。他のグループの成果は当然気になります。



次のテーマはライン生産。ライン生産のポイント、ラインバランスの重要性の説明を受けた後、今度は3つのグループに分かれて、模擬ラインを作り流れ作業で複数の「完成車」を生産します。



模擬生産実習では参加者の皆様、生き生きとしてカイゼンの案出しをされていました。こんな感じで自社のカイゼンに取り組めれば、必ず成果につながるものと思います。

結びに、皆川先生からは、改善活動は、現実とあるべき姿との間のギャップを埋めるための「目的志向」での取り組みが重要とのメッセージをいただき、今回の講習は終了となりました。

アンケートでは、「同じ講習を同僚にも受けてもらいたい」「さらに進んだ講習を企画して欲しい」との多くの意見を頂戴しました。実現に向けて検討をしてゆきます。

今後の「IoT・スマートものづくりスクール」の予定ですが、8月3日に第2回として、「IoTツール講習 - 工場のデータを集める -」を開催予定です。それ以降の企画も準備中です。決まり次第「IoT活用支援」のページにアップしてゆきます。

以上